

宗教哲学会

第13回学術大会

2021年3月27日(土)
京都大学 文学部新館 2階

研究発表

第1部会(第4講義室) 9時30分～11時55分

1. 和辻哲郎の仏教研究における「空の弁証法」について
栗山はるな(京都大学)
2. 夏目漱石『草枕』における非人情と憐れみ
：ショーペンハウアーの「無関心」と照らし合わせて
鳥越覚生(大谷大学)
3. 西谷啓治の「空」の立場における創造
—「業」の立場とニーチェの「運命愛」の立場を手掛かりに—
酒井梨帆(明治大学)

第2部会(第5講義室) 10時20分～11時55分

1. 親鸞の往相と還相について
石橋晃倫(浄土真宗本願寺派西教寺住職)
2. 武内義範の三願解釈とキェルケゴール
庄野龍眞(明治大学)

第3部会(第6講義室) 10時20分～11時55分

1. 武藤一雄(1913-1995)におけるキェルケゴールの「信仰神秘主義」
張潔(京都大学)
2. 超越のあと、絶対無とエクセ
—ポストモダンの視点から見た「超越」論のあとにくる「絶対無」と「エクセ」の議論について—
韓亨模(日本キリスト教団牧師)

シンポジウム 13時30分～17時 (第7講義室)

「イスラーム思想と井筒「東洋哲学」」

1. イスラーム思想と井筒俊彦
鎌田 繁(東京大学)
2. スーフイズム研究と井筒俊彦
東長 靖(京都大学)
3. 井筒俊彦と「東洋哲学」構想
澤井義次(天理大学)

司 会 : 小田淑子(元関西大学)
趣旨説明: 澤井義次(天理大学)
コメンテーター: 小田淑子

※今後の新型コロナウイルスの感染状況によりましては、オンライン開催の可能性もございます。